

関市議会だより

2026  
3/1  
vol.8

関市のこと  
もっと  
知りたい!

# すぱっと

SEKICITY COUNCIL



## TOPICS

特集「すぱっと」ができるまで…P2  
議案(第4回定例会)……………P4  
委員会報告……………P6  
各委員会視察報告……………P8

議員派遣……………P11  
代表・一般質問……………P12  
ボランティア団体紹介……………P19



「すぱっと」アンケート実施中!! 回答はコチラからご協力をお願いします!



関市議会  
だより



# すばっと

ができるまで



関市議会だより『すばっと』が誕生してまもなく2年がたちます。『すばっと』は、議員が協力して手作りで作成しています。手前みそですが、その作成の様子をお届けします。皆様に読んでもらうきっかけになれば幸いです。

## Check! 01 | 創刊の経緯

旧議会だより



創刊号



「関市議会も市の広報とは別に議会だよりを出そう」という声は、長年にわたって議会内にありましたが、意見が揃わず発行に踏み切ることができませんでした。令和5年市議選後の議会で、「市民の皆様にもっと議会の役割や議員の活動を知ってもらいたい」という声が高まり、念願の『すばっと』の創刊に至りました。

## Check! 02 | 制作の流れ

『すばっと』は、議員が手作りで作っています。その流れをご紹介します。



全体会



### 全体会・特集企画会議

制作は全委員(11人)が集まる「全体会」からスタート。ここで全体のページ数、紙面構成やスケジュールを決定します。その後、特集部会(4人)で具体的な企画内容を議論。市民の皆さんに「読んでみたい」と思ってもらえる紙面を目指し、アイデアを出し合います。



特集部会

### 質問原稿締切・質問部会

議会で質問した議員は、質問原稿を執筆します。質問部会(3人)が提出された原稿の表現が統一されているか、分かりやすいか、事実誤認がないかを入念にチェック。この時点で担当課にも原稿を送り、答弁に事実誤認がないか確認します。この工程が記事の品質を支えています。



質問部会

### 議会閉会・議決報告記事作成

議会が終わると、息つく暇もなく議決結果や委員会での審査内容をまとめる作業へ移ります。議案部会(3人)では、難しい議案の中身を1行で簡潔に説明することや、主な議案を取り上げてわかりやすく説明する工夫をしています。



議案部会

### 原稿締切・全体会・校正作業・校了

全ての原稿を揃え、「全体会」で確認した後に印刷会社へ入稿。戻ってきた「第1校(ガラ)」を、全員で目を血のようにしてチェックします。誤字脱字の修正はもちろん、レイアウトも見直して赤字で指示。修正後の「第2校」で最終確認を行い、ようやく完成となります。各号の議会だよりを作成するまでに議会広報委員会を5回開催しています。

- 全体会(特集内容・紙面構成決定) ✓
- 特集部会企画会議 ✓
- 議会開会 ✓
- 代表・一般質問 原稿締切 ✓
- 質問部会 ✓
- 全体会(各部会進捗確認) ✓
- 議会閉会 ✓
- 議案部会 ✓
- 記事原稿締切 ✓
- 全体会(原稿チェック) ✓
- 全体会(第1校チェック) ✓
- 全体会(第2校チェック) ✓
- 校了

Check!

## 03 | 全議員が選ぶ「すぱっと」の推し特集はこれだ!!



準備号

水道料金 22%UP

北村 隆幸

議論の行方が明確!

猿渡 直樹

議会内の意見の違いを示せたから



創刊号

新年度予算の議論を  
見える化!(令和6年度予算)

村井 美美加

議員の推し施策が一目でわかる!



vol. 2

防災の議論を  
見える化!

土屋 雅義

自助共助公助の備えは日頃から



vol. 3

関市議会基本条例を  
見える化!

岩出 和也

より分かりやすい議会を!

幅 永典

市民に開かれた議会の道しるべ



vol. 4

ふるさと納税大解剖

田中 巧

手続負担大きく税収移動型制度

池村 真一郎

市の魅力と財政を  
見える化

武藤 記子

寄附総額の使い道が一目瞭然に!



vol. 5

新年度予算の議論を  
見える化!(令和7年度予算)

川合 治義

予算の審査は議員の第一の任務

林 裕之

新年度予算についてわかりやすい

栗山 守

議員個々の思いが表出されている

足立 将裕

注目予算と議員の個性がわかる

浅野 典之

市民生活に最も関わる内容だから

三輪 正善

未来への投資予算の評価と期待



vol. 6

議会を  
見える化!

長瀬 敦久

質問順はくじ引き! 初耳ですね

長尾 一郎

議会の詳細の説明がわかりやすい

市川 隆也

議会の役割それは市民の代弁者!

渡辺 英人

議会の役割と仕事がわかりやすい



vol. 7

関市の基金(預貯金)  
大解剖

安達 克也

一番インパクトのあるスパッドだね

小森 敬直

市民が知らない事を、よくわかる

石原 教雅

チェック機関のパフォーマンス

全ての特集は、Webサイトから読めます。

<https://www.city.seki.lg.jp/0000001671.html>



Check!

## 04 | 「すぱっと」が できて何がよかった?

議会は多様な民意を代表する議決機関で、立場も考え方も異なる個性的な議員が集まり、議論を経て議決を行います。独立した議会だよりの発行は、議会の立場で、議員の顔が見える議会報告にできると力を合わせて努力しています。また、作成過程で定例会を振り返り議論をすることで、議員がお互いの意見を理解し合う機会となり、よりよい議会を作っていくのに役立つと考えています。

Check!

## 05 | 議会広報 委員長の想い



議会広報委員長  
市川 隆也

「わくわくする議会だよりをめざして」

一人でも多くの市民の愛読者を増やすため皆様が「知りたい・聞きたい」と思う特集を、さらには市民参加型の「4コマ漫画」、「イキイキ!せきのじん」や表紙の写真募集を推進します。11人の議会広報委員は躍動します。

# 令和7年 第4回定例会 / 議案・審議結果の説明

令和7年関市議会第4回定例会を11月27日から12月19日までの23日間、開催しました。この定例会では、条例関係14件、一般議案20件、補正予算8件、諮問(人事案件)1件、合わせて43件を審議しました。

## 定例会日程

- 11月27日 本会議(1日目) 議案上程、説明
- 12月8日 本会議(2日目) 議案質疑、採決、委員会付託等、代表・一般質問
- 12月9日 本会議(3日目) 一般質問
- 12月10日 本会議(4日目) 一般質問
- 12月12日 総務厚生委員会
- 12月15日 文教経済委員会
- 12月16日 建設環境委員会
- 12月19日 本会議(5日目) 委員長報告、討論・採決、追加議案上程、質疑、採決



## 主な議案の説明

### 議案第111号 公の施設の指定管理者の指定(関市板取川温泉バーデェハウス)

指定管理者 株式会社HESTA大倉  
 指定の期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日

**賛成** 本施設は板取川流域の最深部にあり、キャンプや釣りなどにも利用される観光施設の中心であり価値が高い。地元市民の交流と雇用にも貢献している。

**反対** 市町村合併時に温泉等の収益施設は譲渡していく方針であった。指定管理料のほかに多額の修繕料等経費が必要である。今後は、現状の曖昧な対応を改め、明確な計画と具体的な行動をもって判断するべきである。

### 議案第115号、第121号 令和7年度関市一般会計補正予算(第8号)(第9号)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金など 15億9,368万円を追加

#### 補正予算の主な内容

- 物価高騰対策事業
  - ・物価高騰対策「暮らしにエール商品券」
  - ・水道料金の基本料金を4か月分免除 など

## 本会議で賛否が分かれた議案

議案番号 付託委員会		議案名 主要内容		議長 渡辺英人	新政クラブ										市議会 公明党		日本共産党 関市議員団		若草 クラブ		清流 クラブ		無会派	無会派	
					村井美加	岩出和也	北村隆幸	長瀬敦久	池村真一郎	林裕之	武藤記子	長尾一郎	浅野典之	三輪正善	足立将裕	幅永典	市川隆也	小森敬直	猿渡直樹	土屋雅義	栗山守	安達克也	田中巧	石原教雅	川合治義
議案第111号	文教経済	公の施設の指定管理者の指定 (関市板取川温泉バーデェハウス)	株式会社HESTA大倉に指定管理 5年間	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

# 議案の審査結果

## 全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容	付託委員会
議案第81号	関市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	マイナンバー関連の国の命令(省令)が改正されたことに伴い、省令で使用する用語に統一し、国で利用可能とされた情報については市の条例での規定を整理・削除する改正	総務厚生
議案第82号	関市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	人事院勧告に準じて、市議会議員の期末手当の支給率を改定する改正	—
議案第83号	関市特別職職員の給与等に関する条例の一部改正	人事院勧告に準じて、特別職職員の期末手当の支給率を改定する改正	—
議案第84号	関市職員の給与に関する条例等の一部改正	人事院勧告に準じて、職員、会計年度任用職員及び任期付職員の給与の改定をする改正	—
議案第85号	関市職員の給与に関する条例及び関市教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部改正	公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正	文教経済
議案第86号	関市職員の旅費に関する条例の全部改正	国の法改正を受けて、職員等に対し支給する旅費に関する規定の改正	総務厚生
議案第87号	関市収入印紙等購買基金条例の一部改正	岐阜県証紙条例の廃止に伴い、市役所での岐阜県収入印紙の売りさばきに関する事務を削る改正	建設環境
議案第88号	関市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	特定教育・保育施設の職員が行ってはならない虐待等の定義の引用規定を加える改正	総務厚生
議案第89号	関市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	健康診断等を行っている乳幼児については、家庭的保育事業者等において、利用開始時の健康診断の全部または一部を行わないことができる改正等	総務厚生
議案第90号	関市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	乳児等通園支援事業についての設備及び運営に関する基準を定めるため新たに制定する条例	総務厚生
議案第91号	関市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、特定乳児等通園支援事業者の行う事業の運営に関する基準を新たに制定する条例	総務厚生
議案第92号	関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	児童福祉法の一部改正に伴い、引用条項のずれを改める改正	—
議案第93号	関市公設地方卸売市場業務条例の一部改正	卸売市場の活性化を図るため、附属営業人が営むことができる業務について、取扱品目の小売業務を加える改正など	文教経済
議案第94号	関市小学校及び中学校の設置等に関する条例及び関市留守家庭児童教室条例の一部改正	関市立板取小学校を関市立洞戸小学校に再編する改正及び洞戸地域、板取地域及び武儀地域の留守家庭児童教室の再編に伴う改正	文教経済
議案第95号	岐阜県市町村会館組合規約の変更に関する協議	岐阜県市町村会館組合の解散後の事務承継は、構成市町村が各議会の議決を経て行う協議によって定めるとする規定を追加する変更	—
議案第96号	岐阜県市町村会館組合の解散及び財産処分並びに事務の承継等に関する協議	岐阜県市町村会館組合の解散による財産の処分、事務承継、職員の処遇、疑義等の協議の方法について定めるもの	—
議案第97号	財産の無償譲渡(関市板取岩本消防庫)	関市板取岩本消防庫を岩本自治会へ無償譲渡	総務厚生
議案第98号	公の施設の指定管理者の指定(関市西部公民センターほか54施設)	関市西部公民センター管理運営委員会ほか54の管理者に指定管理 5年間	総務厚生
議案第99号	公の施設の指定管理者の指定(関市安桜ふれあいセンター)	安桜まちづくり協議会に指定管理 5年間	—
議案第100号	公の施設の指定管理者の指定(関市旭ヶ丘ふれあいセンター)	あさひ夢のまち協議会に指定管理 5年間	—
議案第101号	公の施設の指定管理者の指定(関市桜ヶ丘ふれあいセンター)	桜ヶ丘ふれあいのまちづくり推進委員会に指定管理 5年間	—
議案第102号	公の施設の指定管理者の指定(関市倉知ふれあいセンター)	くらちふれあいまちづくり協議会に指定管理 5年間	—
議案第103号	公の施設の指定管理者の指定(関市富岡ふれあいセンター)	富岡ふれあいまちづくり委員会に指定管理 5年間	—
議案第104号	公の施設の指定管理者の指定(関市田原ふれあいセンター)	田原みらいづくり協議会に指定管理 5年間	—
議案第105号	公の施設の指定管理者の指定(関市下有知ふれあいセンター)	しもうちふれあいまちづくり協議会に指定管理 5年間	—
議案第106号	公の施設の指定管理者の指定(関市武儀生涯学習センター)	特定非営利活動法人日本平成村に指定管理 5年間	—
議案第107号	公の施設の指定管理者の指定(関市武芸川福祉センター)	社会福祉法人三輪会に指定管理 5年間	総務厚生
議案第108号	公の施設の指定管理者の指定(関市武儀福祉センター)	社会福祉法人大和社会福祉事業センターに指定管理 5年間	総務厚生
議案第109号	公の施設の指定管理者の指定(関市国民健康保険津保川診療所)	公益社団法人地域医療振興協会に指定管理 5年間	—
議案第110号	公の施設の指定管理者の指定(アピセ・関及び関市勤労会館)	T D関市施設運営共同体に指定管理 5年間	—
議案第112号	公の施設の指定管理者の指定(関市TACランド板取)	有限会社タックランド板取に指定管理 5年間	—
議案第113号	公の施設の指定管理者の指定(関市ふどうの森管理センター)	関市下迫間に指定管理 5年間	—
議案第114号	公の施設の指定管理者の指定(関市板取あじさい植物園)	関市板取白谷自治会に指定管理 5年間	—
議案第115号	令和7年度関市一般会計補正予算(第8号)	歳入歳出額 507,997千円 道路舗装・維持補修工事など	各常任委員会
議案第116号	令和7年度関市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	事業勘定歳入歳出額 △1,987千円 直診勘定歳入歳出額 △7,343千円	総務厚生・建設環境
議案第117号	令和7年度関市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出額 199,291千円	総務厚生
議案第118号	令和7年度関市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出額 2,784千円	建設環境
議案第119号	令和7年度関市水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入額 260千円 収益的支出額 57,866千円 資本的収入額 11,500千円 資本的支出額 365千円	建設環境
議案第120号	令和7年度関市下水道事業会計補正予算(第4号)	収益的収入額 9,530千円 収益的支出額 9,530千円 資本的収入額 1,310千円 資本的支出額 1,310千円	建設環境
議案第121号	令和7年度関市一般会計補正予算(第9号)	歳入歳出額 1,085,685千円 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を利用した経済対策他	—
議案第122号	令和7年度関市水道事業会計補正予算(第4号)	水道料金(基本料金)の免除を4カ月延長	—
諮問第8号	関市広見財産区管理委員の選任	加藤宏和氏(新任)	—



議会には、提出された議案について詳しく審査する常任委員会や特定の課題を審査・調査する特別委員会が設置されています。ここでは、第4回定例会で審査された主な内容をご紹介します！

### 委員会では

市政は範囲が広いので、関市議会では議員が3つの委員会に分かれて担当する分野について詳しい審査を行っています。



## 市長公室、財務部、健康福祉部、その他の常任委員会に属さない事項

### 議案第90号

## 関市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

**Q** 「こども誰でも通園制度」は、これまでの「一時的保育事業」とどこが違うか。

**A** 「一時的保育事業」は、家事都合など保護者のニーズが生じた場合に保育施設を利用できる事業である。それに対して新設される「こども誰でも通園制度」は、利用条件を問わず、認定を受けた子どもが一月あたり10時間の範囲内で保育施設を利用できる制度である。家庭では得られない経験を通して、子どもの育ちを応援する目的が強い事業である。



未就園児が利用できます

### 議案第115号

## 令和7年度関市一般会計補正予算(第8号)の所管部分(屋内遊び場施設整備事業)

**Q** 施設整備場所選定までの経緯と基本計画や基本設計に係るスケジュールは。

**A** こども遊び場施設単体ではなく複合施設としていくことや、既存施設を有効に活用すること、わかかさ・プラザにある施設への波及効果を高めることといった議論を重ねた結果、総合福祉会館1・2階に整備する方針を固めた。基本計画や基本設計は、令和8年9月頃出来上がる予定である。

### 議案第115号

## 令和7年度関市一般会計補正予算(第8号)の所管部分(公共施設予約システム構築事業)

**Q** 現行の公共施設予約システムに代わる新システムの導入方針と、供用開始時期は。

**A** 県が使用するシステムを他自治体と共同調達するよう進めている。現行システムで不便であった点は今後検証していく。また、新システムは、令和8年10月1日から稼働する予定である。現行のシステムは、令和9年3月まで新システムと並行して利用できる。

## 教育委員会、協働推進部、産業経済部、農業委員会

## 議案第93号

## 関市公設地方卸売市場業務条例の一部改正

- Q** 今回の改正により卸売業者が取り扱う品目について附属営業人の販売が解禁となる。卸売と小売りが同じ場所で行われることにより価格設定の混乱が生じないか。  
(※附属営業人=卸売市場内で卸売業者から仕入れた野菜や魚介類などの商品を小売業者や飲食店などの買い出し人に販売する事業者。卸売業者は原則として直接買い出し人には売れない。)
- A** 卸売業者と附属営業人は取引段階が異なるため価格水準に差が生じることは想定されるが、附属営業人の販売対象は従来どおり小口・即時取引が中心であり、卸売価格の形成自体に大きな影響を及ぼすものではないと考えている。

## 議案第111号

公の施設の指定管理者の指定  
(関市板取川温泉バーデハウス)

- Q** 合併時に温泉等の収益事業は譲渡していく方針であったが、今後も指定管理を継続していくのか。
- A** 温泉施設の大部分が借地であることや施設の老朽化が著しいことが譲渡に踏み込めない理由の一つである。次の5年の間に指定管理者に譲渡の話をしていく予定である。
- Q** 温泉に関して、指定管理料のほかに工事請負費や修繕料が計上されているが、そこまでして温泉事業を維持していかなければならない根拠はあるか。
- A** 温泉を維持する理由の一つとして、板取地域の産業振興や観光において核となる施設と位置づけているためである。



板取川温泉バーデハウス

12月15日(月)

## 市民環境部、基盤整備部

## 議案第115号

令和7年度関市一般会計補正予算(第8号)の所管部分  
(水道管路劣化予測診断事業)

- Q** 事業内容とスケジュールは。
- A** 水道管の劣化についてAIを用いて予測するものであり、交通量や土壌、管路の布設年次などのビッグデータをAIに学習させることにより、劣化の度合いを色分けして判定するものである。また、令和7年度から8年度にかけてこの業務を実施し、全業務が完了した段階でデータが出てくるので、そのデータに基づき更新計画を見直し、以後の老朽管対策の事業に反映していく。
- Q** 現在、漏水が非常に多く発生しているが、この事業は漏水対策に反映できるか。
- A** AIには漏水の履歴情報もデータとして読み込ませるので、それを学習させたうえで頻度が高い箇所については優先順位を上げて補修していきたい。



水道管工事の様子

12月16日(火)



## 総務厚生委員会

兵庫県三田市 令和7年10月6日(月)  
京都府綾部市 令和7年10月7日(火)

委員長：武藤 記子  
副委員長：長瀬 敦久  
委員：北村 隆幸 / 田中 巧  
林 裕之 / 栗山 守  
足立 将裕 / 猿渡 直樹

### 視察地 兵庫県三田市 内部統制

#### 三田市の取組

三田市の内部統制は、地方自治法に基づき「内部統制基本方針」を策定し、事務執行の適正化や行政サービスの質向上を目指す仕組みです。全庁的にリスク評価や日常的モニタリング、必要な規程・マニュアルの見直しを行い、評価部門が内部統制の運用状況を評価・報告し、監査委員や議会にも公表し、市民の信頼確保に努めています。



三田市議場にて

#### 考察 関市に活かせること

三田市の内部統制は、過度な事務負担を避けつつリスクを見える化し、年2回のPDCAによる継続的改善と、ミスを隠さない風通しの良い組織文化を重視し、既存のチェック体制の検証・強化が先決であるとの視点は参考となりました。不備事案の発生を踏まえ、会計・監査・内部統制部門が連携した体制整備を進めるとともに、職員の意識改革や第三者的視点の活用を含め、実効性と持続可能性を意識した内部統制の在り方を検討することが求められます。



内部統制について説明を受ける様子

### 視察地 京都府綾部市 子育て交流センター「あやっこひろば」

#### 綾部市の取組

綾部市の「あやっこひろば」は、JR綾部駅北側の複合施設「あやテラス」内に令和5年11月に開設された子育て交流センターです。ベビーエリア、ロールプレイエリア、アクティブエリアの3つのゾーンを設け、親子が雨天でも安心して遊べる場を提供。子育て家族の交流や情報交換の場としても利用されており、発達段階に応じた遊具や仕掛けで子どもの成長支援と地域のつながりづくりに貢献しています。市の直営で、専任スタッフが常勤されています。



綾部市「あやっこひろば」にて

#### 考察 関市に活かせること

「あやっこひろば」は、利用者ニーズを的確に捉えた設計と柔軟な直営運営により、子育て世代が安心して集える公共空間を実現しています。本市においても、屋内遊び場施設整備に際し、専門的知見の活用や運営体制の継続性を重視するとともに、料金体系や設置場所による政策的波及効果を慎重に検討すべきです。あわせて、相談機能との連携や細部への配慮を通じ、実効性の高い子育て支援につなげるのが重要です。



あやっこひろば(綾部市子育て交流センター)

## 文教経済委員会

滋賀県近江八幡市 令和7年10月23日(木)  
大阪府八尾市 令和7年10月24日(金)委員長：浅野 典之  
副委員長：岩出 和也  
委員：川合 治義 / 安達 克也  
幅 永典 / 渡辺 英人  
石原 教雅視察地 滋賀県近江八幡市 小学校とコミュニティ  
センターの複合化

## 近江八幡市の取組

近江八幡市では「安全・安心な災害に強いまちづくり」をめざして、まちづくりの拠点であるコミュニティセンターと小学校とのつながりを強化し、災害時にはコミュニティセンターだけで収容しきれない避難者を小学校と連携して受け入れ地域住民の円滑な避難誘導を実現できる事業を推進しています。具体的な施設整備としては小学校の1階部分に地域活動の拠点となる体育館や図書館などの施設を置き、2階には小学校の普通教室を配置して、災害時の避難者が教育活動の支障とならないようにしています。また、放課後にはシャッターで教育施設と共有施設を遮断し、セキュリティを確保しています。



近江八幡市立島小中学校にて

## 考察 関市に活かせること

近江八幡市では地域活動と防災拠点としてのコミュニティセンターと小学校の連携を重視しています。地域の住民が普段から小学校に出入りして施設を利用でき、学校の運営に住民の協力を得やすい関係が築かれています。まさに地域で子どもたちを育て、災害時には一体となって安心・安全を確保できる体制が日ごろから準備されているといえます。

倉知小学校の複合化に当たっては施設整備だけでなく、地域コミュニティとの連携が大事であると感じました。



近江八幡市立桐原小学校について説明を受ける様子

## 視察地 大阪府八尾市 みせるばやお、FactorISM、産業施策について

## 八尾市の取組

八尾市は平成13年制定の「中小企業地域経済振興基本条例」に基づき、市民・事業者・行政が協働で社会発展を目指しています。具体的には、施策提言の場として20人以内の委員で構成される「八尾市産業振興会議」を設立。さらに、平成29年には「みせるばやお」というコンソーシアムを立ち上げました。当初35社から始まった参加企業は現在143社に拡大し、「株式会社みせるばやお」が運営を担い、協賛金や会費で活動しています。企業向けセミナー、交流会、小学校連携、人材育成、新商品開発支援など多岐にわたる活動を通じ、「みせるばやお」は行政と企業が連携し、地域の課題解決と「八尾のものづくり」ブランド力向上、イノベーション・共創の加速、地域経済の発展に貢献しています。



八尾市「みせるばやお」にて

## 考察 関市に活かせること

本市には『セキビズ』がありますし、『関の工場参観日』という行事も行われています。八尾市のように行政と連携しながらも独立したコンソーシアムが主体となって様々な活動を展開していることは学ぶべき点だといえます。また常時工場見学を受け入れている事業所が数力所あることも関のものづくり業界として学ぶことができると言えます。



「みせるばやお」内みせるばマルシェ

## 建設環境委員会

静岡県静岡市 令和7年11月5日(水)  
静岡県富士宮市 令和7年11月6日(木)委員長：池村 真一郎  
副委員長：村井 芙美加  
委員：長尾 一郎 / 土屋 雅義  
市川 隆也 / 三輪 正善  
小森 敬直

## 視察地 静岡県静岡市 脱炭素先行地域の取組

## 静岡市の取組

静岡市は、国の「脱炭素先行地域」に選定され、2030年度の温室効果ガス実質ゼロを目標に、民間企業と連携した先進的な取組を進めています。市内3つのエリアで、太陽光発電や蓄電池、水素エネルギーを組み合わせ、自営線や地域マイクログリッドを活用したエネルギー供給を展開。災害時の電力確保にもつながる仕組みを構築しています。市が全体構想を描き、国の交付金を活用しながら民間投資を呼び込む官民連携の手法は、脱炭素と地域活性化を同時に進める好事例です。



静岡市議場にて

## 考察 関市に活かせること

今回の視察から、脱炭素は設備導入だけでなく「官民連携の設計力」が重要であると強く感じました。静岡市では、工業団地や既存施設の屋根を活用した太陽光発電と蓄電池を組み合わせ、安価で安定した電力供給を実現し、企業誘致にもつなげています。本市においても、将来の工業団地整備や遊休地活用の場面で、再生可能エネルギーと防災を一体で考える視点は大いに参考になります。地域の特性に適した小規模・現実的な脱炭素施策を積み重ねることが、持続可能なまちづくりにつながると感じました。



脱炭素施策について説明を受ける様子

## 視察地 静岡県富士宮市 下水道事業経営戦略の取組

## 富士宮市の取組

富士宮市では、人口減少や施設老朽化、使用料収入の低下といった課題に対応するため、下水道事業を公営企業会計へ移行し、経営戦略を策定しています。財政状況の「見える化」を進め、ストックマネジメントによる計画的な施設更新や、不明水対策、水洗化率向上に取り組んでいます。また、将来的な料金改定や広域化、民間活力の活用も視野に入れ、持続可能な下水道事業運営を目指している点が特徴的でした。人口減少社会に対応した現実的な経営判断が求められます。



富士宮市議場にて

## 考察 関市に活かせること

富士宮市の視察を通じ、下水道事業は「整備」から「経営」へと発想を転換する重要性を強く感じました。人口減少が進む中、すべてを公共下水道で賄うのではなく、区域の見直しや合併浄化槽との役割分担を検討する姿勢は、本市にとっても大きな示唆となります。また、経費回収率の向上や老朽管路の計画的更新、不明水対策は本市と共通の課題です。将来世代に過度な負担を残さないためにも、料金制度を含めた持続可能な下水道経営を、市民理解を得ながら進めていく必要性を改めて感じました。



下水道事業経営戦略について説明を受ける様子

# 令和7年度 中濃十市議会議長会 議員研修会

「主権者教育と地方議会」 講師：西野偉彦氏

令和7年11月10日(月)

中濃十市議会議長会議員研修会が、羽島市不二羽島文化センターにおいて開催され、全議員が参加しました。

本年度の研修は、「主権者教育と地方議会」の演題で、講師の西野偉彦氏((株)第一生命経済研究所ライフデザイン研究部主任研究員)に講演いただきました。

主権者教育に議会としてどのように関わるかという具体的な事例や、地方議会で主権者教育を積極的に取り上げる意義などについて聴講しました。



※中濃十市とは、関市・羽島市・美濃市・美濃加茂市・各務原市・可児市・山県市・瑞穂市・本巣市・郡上市の10市で構成し、毎年議員研修会を開催しています。

## 関市議会・白川村議会 交流懇談会

白川村

令和7年8月27日(水)

**参加議員** 渡辺 英人 / 長尾 一郎 / 市川 隆也 / 小森 敬直 / 三輪 正善 / 土屋 雅義 / 川合 治義  
長瀬 敦久 / 安達 克也 / 北村 隆幸 / 岩出 和也 / 村井 芙美加

白川村議会と関市議会は、平成17年から交流懇談会を開催しており、今年度で18回目を迎えました。

今回は、森崎白川村議会議長をはじめとする白川村議会議員の皆様が関市を訪問されました。到着後には、関観光ガイドの会による小瀬鵜飼の案内を受け、その後、関市議会議員と「今後の両地域における交流推進」について意見交換を行いました。

また、夕刻には、山下清司関市長を来賓としてお迎えし、共に小瀬鵜飼観覧船に乗船しました。



## 関市議会・氷見市議会 姉妹都市友好親善議員交流会

富山県氷見市

令和7年10月15日(水)

**参加議員** 渡辺 英人 / 長尾 一郎 / 猿渡 直樹 / 幅 永典 / 足立 将裕 / 田中 巧 / 栗山 守  
浅野 典之 / 武藤 記子 / 林 裕之 / 池村 真一郎

本市と氷見市は姉妹都市提携を結び、昨年で26年を迎えました。関市議会と氷見市議会は、平成13年より議員の相互訪問を継続しており、今年度は氷見市議会が関市を訪問されました。

正保氷見市議会議長をはじめとする氷見市議会議員の皆様と関市議会議員が、姉妹都市友好親善議員交流会を開催しました。交流会には来賓として山下清司関市長も出席され、令和6年能登半島地震の復旧・復興状況等について活発な意見交換が行われました。





## 市政に対する代表・一般質問

代表・一般質問は、市の行政全般について市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。

第4回定例会では、14人の議員が代表・一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。

質問の全内容は、YouTubeの録画配信や後日公開される会議録検索システムで確認することができます。



本会議の様子はこちらから

YouTube  
録画配信



<https://www.city.seki.lg.jp/0000001807.html>

市政を  
もっと身近に



会議録検索



<https://www.city.seki.lg.jp/0000001470.html>

掲載順は、質問を行った順番になっています。なお、掲載された原稿は各議員が作成しているため、ご不明な点は議員にお尋ねください。

**Q** 事業会計としての、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、コミュニティプランの現状と課題は

下水道事業の将来に向けたあり方

**A** こともちょうのために保育園、幼稚園等給食費無償化事業を、1559人の児童に令和7年10月から開始、保育士等定着支援金は8人に192万円を交付、全天候型屋内遊び場施設は総合福祉会館の一面を候補地としました。都市基盤整備においては、東山西田原線整備、工場用地開発可能性調査、重要給水路線耐震化促進などを積極的に進めていきます。また、安心して暮らし続けるために、高齢者移動支援として市内運行バス利用助成事業を令和7年10月から開始しています。さらに、ゼロカーボンシティの推進、農業では、オーガニック産地づくりとして、有機農業に取り組み担い手を増やす支援策を進めるとともに、他市の先進事例の研究に努めています。

**Q** 令和7年度予算の中間評価と現状  
未来への投資とした三つの基本政策の中間評価と進捗は

**A**

新政クラブ代表質問  
みわ まさよし  
三輪 正善



**A** それぞれの事業において、老朽化や人口減少、さらには事業収入に占める一般会計からの繰入金の高さなど、将来の経営環境は厳しさが増す中、より効率的な経営戦略を立案し事業を滞なく進めていきます。

市内各地区からの要望対応

**Q** 毎年各自治会からの要望案件に係る対応状況と早期処理のための組織新設は

**A**

令和6年度では776件の要望がありました。その内、約7割が土木課関連であり、現場確認や関係機関との調整等多くの時間と労力を費やしています。現時点では組織を新設するのではなく、職員の適切な配置や業務量の分散等による業務の効率化や現場作業の直営体制の強化を図り、市民の皆様の要望に迅速に対応していきます。

その他の質問は  
コチラから！



### 市町村合併20周年

#### Q まちづくりの将来ビジョンは



第6次総合計画の策定に向けて、市民の皆様と協議を重ねつつ示していきます。合併後20年が経過し、合併はすでに市民生活に深く浸透しているものと考えています。今後は、かつての市町村の垣根にこだわることなく、関市としてどうあるべきかを第一に考え、各地域固有の文化や価値、地域の特色・強みはこれまで以上に大切にしながら地域振興策を講じ、市民と行政が一体となり、共創による魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えています。

### 重点支援地方交付金

#### Q 特別加算活用への考えは



国の方針に沿い、食料品価格の高騰による家計への負担を軽減するため、主に食料品の購入を想定した給付型の「せきpay」または「せきチケ」の交付を検討しています。これに加え、低所得者世帯に対する給付による生活支援策、今年度実施している水道料金基本料金の減免措置の延長についても検討を進めています。

### 高齢者の移動支援



運転免許証返納者に対し、3年間の無料バス乗車証を交付する制度が今年度で終了となる経緯と、その代替策は



もともと免許を持っていない方との不公平感の問題がありました。また、令和7年3月からマイナ免許証が開始されたため、運転経歴の情報がマイナンバーカードに格納され、乗車証の発行に必要な返納日の確認ができなくなり、制度終了に至りました。代替策として、令和7年10月より「高齢者市内運行バス利用助成制度」を開始しています。



マイナ免許証がまだ普及していないこと、申請者が増えており需要があること、返納のインセンティブが失われることを考慮すると、制度終了は時期尚早ではないか。制度の継続を検討しては



制度の継続は考えていませんが、今後は「高齢者市内運行バス利用助成制度」の運用によって、高齢者の移動支援を行っていきます。



新制度は免許保持者も対象となるため、返納の動機づけにはならず、代替策として不十分である。返納者への優遇措置を検討すべきでは



村井 芙美加が  
問います！



今後、現在制度の対象となっていない75歳未満の免許証返納者に対し助成券を交付するなど、返納者に対する優遇措置について検討していきます。

### 障がい者の移動支援



障がい福祉サービス「移動支援事業」について、現在は通院や余暇活動等に用途が限られているが、ニーズの高い通勤・通所への利用を雇用促進の観点から認めるべきでは



通勤や通所を対象にする場合、利用時間帯が集中することや障害者施設では送迎加算の規定があることなどの課題もあり、現在の登録事業所の状況では安定したサービス提供が困難と考えますので、現在のところこれらを地域生活支援事業の移動支援サービスの対象に加えることは予定していません。今後、他自治体の事例などを参考に可能性を検討します。

その他の質問は  
コチラから！



その他の質問は  
コチラから！



### 歩道環境整備

**Q** 日常的な見回りや軽作業に  
対して、アダプトプログラ  
ム(資材提供と保険加入)と  
せきpayによる報酬を  
組み合わせて提供しては

**A** 担い手意欲の向上につながり  
効果的ですが、制度の趣旨や運  
用面の課題もあり、調査・研究が  
必要です。

### 生活支援体制整備事業

**Q** 高齢者を地域で支え合う  
仕組の中心となる担い手  
の育成は

**A** 担い手である第二層のコー  
ディネーターを協議体の人材に  
委ねることも選択肢の一つであ  
り、地域の実情に応じた選任や  
柔軟かつ効果的な人材育成につ  
いて模索します。

### 学校規模適正化計画

**Q** 板取・上之保地区の産業や  
文化などを教育課程に組み  
込み、地域との交流を継続  
しては

**A** 地域の皆様の学校行事への  
積極的な参加と協力をお願い  
しています。

**Q** 小規模特認校(市内どの校  
区からでも通うことができ

ながせ あつひで  
長瀬 敦久が  
問います!



る)となる富野小学校の教  
育課程について「学校はこ  
んなもの」という枠を作ら  
ない、校長の柔軟な裁量へ  
の支援は

**A** 学校への支援を教育委員会  
の役割として確実に果たして  
いきます。

**Q** 保護者を中心とした「小規  
模特認校を考える会」への  
支援は

**A** 会には、地域の皆様に支援し  
てもらいたいと考えます。要望  
があれば、その都度判断します。

### 学校運営協議会

**Q** 住民が学校の運営に主体的  
に関わるため、職員の任用  
について意見を述べられる  
ように規則を改正しては

**A** 今のところ規則変更の予定は  
ありません。

その他の質問は  
コチラから!



### SS過疎地対策計画

**Q** アンケート調査を受け  
て今後の進め方は

**A** アンケート調査の結果を十  
分に検討し、過疎地域におけ  
る生活基盤の確保や事業者の  
安定的な事業継続のための方  
向性や対策を打ち出していき  
ます。

### 富野の旧ロジスティクス用地

**Q** AIEDセンターを  
誘致して最先端産業の  
モデルにしては

**A** 総務省によりますと、今後生  
成AIの普及やメタバース、自  
動運転などが普及・発展するう  
えで、国内においてデータ流通  
の拠点施設やデジタルインフ  
ラの最適配置が重要であるとの  
考えが示されています。社会・  
経済を支える基盤として  
データセンターの新設が求め  
られ、国内でも今後大規模な  
データセンターの新設計画が  
検討されています。富野地区の  
旧ロジスティクス用地はデー  
タセンター誘致に対する条件  
に当てはまる点があります。現

かわい ほるよし  
川合 治義が  
問います!



を行っている工業用地可能性  
調査の結果を検証し、データセ  
ンター誘致も含めた様々な  
分野において企業誘致につな  
がるよう努めていきます。

### 令和31年度満期の国債償還時 の貨幣価値低下

**Q** インフレ率が2%だと  
した場合満期時の目減  
りは

**A** 毎年2%の物価上昇が続く  
と仮定すると、令和31年度で物  
価は約1.6倍になり、貨幣価  
値は現在の水準のおよそ6割  
に低下すると予測されます。そ  
のため、令和31年度に償還期限  
を迎える96億円の債券の実質価  
値は約60億円になると想定さ  
れます。

その他の質問は  
コチラから!



### 中池公園におけるにぎわいの創出

**Q** 公園名称の見直しは

名称の見直しについては、今後の中池公園全体の整備・運営方針と併せて検討していきます。

**Q** 維持に留まっている業務委託から専門性の高い維持管理・利用誘致を含めた運営を一体化した指定管理委託の導入が必要では

民間活力導入調査においても指摘があり、全庁的な協議を行い、「にぎわい創出」につながる施設の有効な管理運営について検討していきます。

**Q** 中池公園の組織的管理のもとで、にぎわい創出政策の打ち出しは

施設を管理運営する部局も複数に跨っており、中池公園を「にぎわいの拠点」とするためには、各部局の連携が不可欠であり、しっかりとしたリーダーシップのもとで政策的に推進していく体制が必要と考えています。

### 財政運営

**Q** 長期財政計画の妥当性の確信は

いしはろ のりまさ  
石原 教雅が  
問います!



**A**

長期財政計画は現時点での予測に基づく「羅針盤」数値上の「目安」として位置づけています。今後は、長期財政計画の策定精度の向上に努め、各種計画との変化・実績との乖離を踏まえ、必要に応じて見直しや調整を検討していきます。

**Q**

基本的かつ原則に基づく財政運営を進めるべきでは

基金について超長期債券運用により流動性の確保等に制約を生じていることは認識しています。今後、設置目的に従い適切な規模と効率的な活用に向けていきます。また、市債についても、必要に応じて市債残高に捉われることなく市民生活の向上と将来のまちづくりに関する投資を着実に実行していきます。事業会計については、独立採算制の原則に則って事業運営をしていきます。財政力指標などに過度に反応することなく、健全財政の枠内において必要な社会資本投資・市民サービスの提供を行っていきます。

その他の質問は  
コチラから!



### 生活保護制度

**Q** 「いのちのとりで裁判」を市はどのように受け止めているか

生活保護制度の根幹にかかわる極めて重い判断と受け止めています。最高裁が違法としたことは、生活保護が「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する最後の砦であり、受給者の生存権を脅かす不適切な運用は許されないと司法の強いメッセージと認識しています。

**Q** 国が生活保護費を引下げた対象者の把握は

平成25年度は192世帯、246人、平成26年度は173世帯、220人、平成27年度は181世帯、225人です。

**Q** 生活保護受給者の現状は

令和7年10月末現在の生活保護受給者数は316世帯、382人です。

**Q** 生活保護の受給要件を満たす生活困窮者のうち、実際に受給している方の割合(捕捉率)は、日本は20〜30%で外国は80%以上である。申請をためらう人を減らすべきでは

生活保護に対する社会的偏見やネガティブな意見など、申請をためらう方は少なからずいらっしゃいます。そのような方

こもり よしなお  
小森 敬直が  
問います!



**Q** 電気代等の高騰に対する支援は

生活保護では、市独自で電気代高騰に対応する費用支援を行うことはできません。生活保護制度に関連して施行される物価高騰に対応した特例加算には適切に対応しています。

**Q** すべての生活保護世帯にエアコンを設置しては

平成30年度より保護開始時に設置費用が認められています。また、本市独自の補助として、平成30年度以前の受給者を対象としたエアコン設置補助制度を設け、令和4年度まで普及に努めてきました。その結果、現在ではほとんどの世帯でエアコン設置が完了しています。

その他の質問は  
コチラから!



### 事業（行政）評価

#### Q 評価の流れは

A 6月、各事業担当課にて前年度事業の行政評価シート（評価結果と今後の方向性）を作成します。8月、企画広報課がヒアリングを行い数値目標の達成状況や改善点を確認し、次年度以降の実施計画策定後の11月に市のホームページで公表しています。

#### Q 重点化や廃止等と評価された根拠を示すべきでは

A 市民の市政への理解と信頼を深めるために、理由を分かりやすく施策評価シートに明示します。

### 観光映像作品

#### 「怪獣ヤロウ！」撮影事業

Q 全国120館以上で上映され、有料観客数は5万人以上とのことでしたが、本事業の問題点・課題は

A 映画製作費の一部を補助金として支出したことで、映画に関する著作権、商標権、著作権者人格権等の権利を全て製作者側が所有し、市の二次利用に制約が生じたことです。また、ご当地映画等による観光誘客事業は一過性が強いことから、本市への再来訪に繋がる魅力的な情報発信を行う必要があります。

くりやま まさる  
栗山守が  
問います！



#### Q 今後の具体的な取組は

A 本市はロケツーリズム協議会に加盟していることで、引き続き、映画撮影誘致の機会を逃さぬよう取り組めます。また、観光が「モノ消費」から「コト消費」へ変化している状況から、本市ならではの体験イベント創出や既存の体験イベントのブラッシュアップに努めていきます。

### 小・中学校隣接区域選択制

#### Q 令和7年8月に行った希望者申請受付状況は

A 市内全体で10名、その内訳は桜ヶ丘小5名、旭ヶ丘小2名、安桜小・倉知小・武芸小各1名で、学年別では小学校新1年生8名、新2年生と新4年生で各1名でした。

#### Q 本制度の課題は

A 希望者多数の場合の抽選、通路の安全確保、児童生徒数の減少により教育活動の維持が困難になることなどがあげられます。

その他の質問は  
コチラから！



### 基金等の”塩漬け債券“

#### Q 額面402億円の保有債券が売却できない状態になっているが、今後は

A 令和7年11月末現在で債券含み損は基金で149億円、歳計現金で4億4580万円に なっています。債券運用指針・公金管理運用基準を改定すると共に、保有債券の一部売却を検討することとし、公金管理運用委員会による協議を義務付けます。歳計現金に含まれる債券は基金に移していく考えです。

### 介護保険料引下げ

#### Q 介護保険料は「おおむね3年を通じ財政の均衡を保つことができるもの」でなければならぬ（介護保険法第129条第3項）と定められている。法定めた原則に従い準備基金を活用し、令和8年度の保険料を引き下げは

A 介護保険料は安定的な設定を念頭に置き、第七期（平成30～令和2年度）以降同一の基準額を維持してきました。介護給付費準備基金の令和6年度末残高は15億4257万33792円です。現時点では同基金の取崩判断は難しく、令和8年度の保険料を引き下げる方針はありません。第十期（令和9～11年度）の

### 長良川鉄道の経営改善

ごわたり なおき  
猿渡直樹が  
問います！



計画策定で保険料の設定を慎重に協議・検討します。

#### Q 車両から煙が出る、夏場にエアコンが効かない等の故障や、関駅待合所の放置されたジオラマ、駅舎横の使われていないシェアオフィス等の問題を解決し、利用する住民を大切にする経営改善を進めては

A 軽微な事案を含む事故等の報告基準について会社と協議し対応してまいります。関駅のジオラマは来年度で撤去し待合所をリニューアルする計画です。シェアオフィスは、設置されている関・美濃市・郡上八幡の三駅とも利用実績はなく、今後の方向性も未定とのこと。長良川鉄道は地域の足を支えており、いかに持続可能な鉄道事業を展開していくかが問われているものと考えます。

その他の質問は  
コチラから！



## 中学生海外研修

**Q** 今年度の応募者や参加者などの状況は

**A** 令和7年度応募総数58名、研修参加者20名で、市内9校全てから参加がありました。参加した生徒は2年生9名、3年生11名、男子4名、女子16名でした。

**Q** 本事業のゴールと成果は

**A** 豊かな国際感覚と広い視野を養い、将来活躍する人材育成を目指しています。令和元年度までに54名が参加、うち14名が外国語や海外に関心を持ち関連大学に進学し、10名が留学を経験しています。今年度より人との関わり方や積極性を身に付けるなど、未来を担う中学生の可能性を広げる一助になっています。

## 小中学校の教員

**Q** 教員不足を補う対策、対応は

**A** 市独自の予算でわかあゆ非常勤講師・かがやき非常勤講師を任用し、今年度は26名を配置しています。新たな講師確保のため、美濃教育事務所や近隣大学との連携、保護者に「すぐーる」で免許保持者の情報提供を呼びかけるなどして情報収集に努めています。



あだち かつなり  
安達 克也が  
聞きます!

**Q** 学校と教師の業務の3分類についての手立ては

- ① 学校以外が担うべき業務では、通学路の見守りを「学校安全支援者」や「子ども見守りボランティア」により実施しています。
- ② 教師以外が参画すべき業務では、部活動の地域移行、水泳授業の外部委託、ICT機器・ネットワーク設備の保守管理を外部委託やICT支援員で対応しています。
- ③ 教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務では、特別支援教育アシスタント・図書整理員・心の相談員、外国人児童生徒教育相談員を配置しています。また、一部の中学校でテスト自動採点ソフトを導入しています。

## 空き家対策

**Q** 相談内容や相談者への対応は

**A** 最も多い相談は、近隣住民からの苦情や情報提供です。相談に対しては職員による現地調査確認と所有者への指導・助言を行っています。

所有者からは、補助金に関する質問や空き家の活用・相続に関する相談が多く寄せられています。補助金の説明や空き家バンクへの登録を提案し、活用を支援しています。

希望者には専門家による相談会への参加を促しています。

**Q** 相談窓口の課題と対策は

**A** 空き家問題の多様化・複雑化に伴い、相談内容も専門的・広範囲化しており、相談体制の強化が課題です。

現在募集中の地域おこし協力隊を重要な担い手として活用していきたいと考えています。

協力隊には、空き家の発生予防、管理不全空き家の解消、移住・創業希望者とのマッチングによる空き家活用促進という3つの目的で活動してもらい、専門的かつ継続的に空き家問題全般に対応できる体制を強化していきます。

## 庁舎西側ロータリーの安全対策

**Q** 車両の逆走対策・柳の木伐採による交通安全対策は

**A** 現状の案内標識だけでは安全確保が十分でない場合があると認識しています。

短期的には、柳の伐採等により、視認性の確保をすることも路面表示の見直しを検討します。並行して、中長期的な恒久対策として植栽帯の延長等による道路の進入禁止を含む物理的抑止策について、車両への影響や費用対効果も踏まえて慎重に検討していきます。



いちかわ たかひろ  
市川 隆也が  
聞きます!

その他の質問は  
コチラから!



その他の質問は  
コチラから!



公金管理運用

**Q** 基金の運用で定期預金と債券からの過去10年間（H27年度からR6年度）の運用益総額は

過去10年間の基金運用収益

	定期預金	債券
利子収入	約2千万円	約24億5千万円
売却益	—	約4億9千万円
計	約2千万円	約29億4千万円

10年間の利子総額は、約24億7千万円

**Q** 基金の運用収入は何に使われてきたか

**A** 運用益は基金へ積み立てられ、基金からの取り崩しという形で、様々な事業の財源として活用されています。

**Q** 基金運用の総括と今後は

**A** 債券での運用は、多額の利子・売却益を生みましたが、現在の金利上昇傾向により本市の基金は債券の含み損（約141億円）が増大し、資金の流動性が失われている状況です。

あだち まごひろ  
足立 将裕が  
聞きます！



特に、額面総額392億円の約4分の3を占める残存償還期間20年超の超長期債券の含み損が大きく、流動性喪失の主因となっています。

反省点として、資金流動性確保のための基本的なルール（基金総額に占める債券割合や償還年限の上限）が現行規定で定められていなかったことや債券運用に関する庁内合意の仕組みや手続きが明確でなかったことです。今後は公金管理運用委員会でも適正な資金運用を検討していきます。具体的には、規定の改定を行い、比較的含み損が少ない債券に着目し、必要に応じて売却・現金化を進めます。

また、交付税措置のない地方債や補助金の積極的な活用を行い、財政運営や事業進捗に支障が生じないよう、庁内全体で取り組んでいきます。

その他の質問は  
コチラから！



義務教育の意義を踏まえた  
これからの学校のあり方

**Q** 意見表明権を担保するための意見形成支援は

**A** 誰もが自由に意見表明できることは、とても重要なことです。

日々の授業等で技術面と環境面の支援を行っています。その根底には心が通い合う関係が大切です。今後も、コミュニケーションを通して、相手の価値観や個性を認め合い、尊重し合える仲間関係を築いていくことが大事だと考えます。しかし、実際には、児童生徒の中には、なかなか自分の考えや思いを伝えられない子もいます。だからこそ、児童生徒から困りごとや不安があるとき、先生や学校にいる大人に対して、いつでも相談できる学校環境を整えていく必要があると考えています。

こども・若者の権利条例制定

**Q** 条例制定にあたり本市が重視していることは

**A** 条例の制定過程においては、市民の意見を聞き子どもの思いを反映し制定をすすめています。

また、専門的な視点から子ども・子育て会議の意見を聞くほか、行政の視点からも各部の意見を横断的に聞いています。全ての部署が子ども・若者に関する視点を施策に取り入れるよう促すということも、条例制定過程における重要な意義だと考えています。

今後、こども・若者の権利条例を単なる理念で終わらせることなく、市民の視点を中心に据えて、さらには専門的意見、行政の視点を加えて、実効性ある条例の制定に向けて取り組んでいきます。

いわて かずや  
岩出 和也が  
聞きます！



その他の質問は  
コチラから！



## 民間委託のあり方

**Q** 過去3年間に本市が策定した計画等のうち、コンサルタントに委託した件数と割合、総額、市外業者の割合は

**A** 令和4～6年度のパブリックコメントに付した計画策定16件のうちコンサルタントへの委託は14件で、88%、委託先は全て市外業者、総額約6566万円、1件あたり平均約419万円です。

**Q** コンサルタント依存ではなく、市民や職員主導で計画を策定するべきでは

**A** 明確な「役割分担」のもと、業務の一部を委託しており、依存度が高い認識はありません。しかし庁内連携や職員体制の補強で遂行可能な業務もあるので、今後、委託内容を精査していきます。

## ユースセンター設置

**Q** 市長が文京区青少年プラザberaabを視察しての所感と本市でのユースセンター設置の考えは

きたむら たかゆき  
北村 隆幸が  
問います!



**A** 視察した「beraab」では、若者の自己実現を支えるユニークな取組が展開されていました。また、専門スタッフが常駐し、若者一人ひとりに寄り添った伴走支援を行うことで、意欲や創造性を引き出していました。こういった居場所は重要であり、本市においても具体的な検討を進めていきます。

## 屋内子どもの遊び場

**Q** 選定場所と想定する内容は

**A** 整備スペースは総合福祉会館1・2階の1200㎡とし、わかき児童センターと一体化することで、遊びのテーマに基づくゾーニングを計画しています。主なゾーンは、アクティブゾーン(体を使って遊ぶ)、クリエイティブゾーン(制作や造形活動)であり、その他交流スペースの整備も検討しています。今後、事業者提案を募集して、基本計画・基本設計をしていきます。

その他の質問は  
コチラから!



## 議会だより『すぱっと』を支えるボランティア団体

### ■点訳ボランティア「関六ツ星会」

6人のメンバーが、『すぱっと』の特集、議案、委員会報告に加え、各議員の質問から1項目を選んで点訳しています。各メンバーは自宅で担当部分を点訳し、その後、総合福祉会館のボランティア活動室に持ち寄って丁寧に校正。専用プリンターで点字に打ち出されます。完成した点字版は、視覚障がい者向けの郵便制度を利用し、利用者の方々へ郵送。このようにして、視覚障がいのあるの方々へ大切な情報を届けるための、地道で重要な作業が行われています。



点訳ボランティア「関六ツ星会」

### ■音訳ボランティア「関音訳の会しおん」

5～6人のメンバーが分担し、黙読・音読で練習後、音訳室や自宅で録音します。録音データを持ち寄り、『すぱっと』原稿と照らし合わせながら、読み間違いやイントネーションの不備がないかチェックし、問題があればその部分を録音し直します。校正後、専用ソフトでページ順に構成し直し、CDに焼いて専用郵便で利用者に郵送します。利用者からは、かつて『広報せき』の一部だった頃と比べ、その充実ぶりに喜びの声が寄せられています。



音訳ボランティア「関音訳の会しおん」

えっ!子どもが体調不良!?  
作:三輪 明栄さん



病児・病後児保育の利用には事前登録が必要です。詳しくは子ども家庭課へお問い合わせください。

イキイキ!  
せきのじん



関市の歴史・文化をポップカルチャーで発信!  
関市ポップカルチャー団体  
げきとうさくら えまき  
「劇刀桜絵巻」さん

地元の歴史や文化を、漫画やイラストといった「ポップカルチャー」の手法で表現する団体「劇刀桜絵巻」。独自の視点で地域を盛り上げる、そのユニークな活動スタイルについて聞きました。

Q どのような活動をしていますか?

活動の柱は、市内外の作家が関市を描く「クリエイターズSEKI展」の開催と、甲冑姿などで行う演武企画です。昨年開催した6回目のSEKI展では、関市の観光地をテーマに制作しました。演武は、関鍛冶伝承館で刃物まつりや日本刀鍛錬の時に行っています。メンバーは固定せず、テーマに合わせて演者を募る柔軟なスタイルで、関市の民話や刀工の物語を毎回違った演出で届けています。

Q 地域連携や今後の目標はありますか?

関市の商店街の皆さんと一緒に新しいキャラクター「にゃごろく」を考案しました。それを活用し、遊び心あるコラボ菓子なども作っています。今後はスマホ向けノベルゲームの制作や、小中学校との連携による作品展示など、活動の幅を広げる予定です。「描く・創る」楽しさを通じて、子どもたちの発表の場を増やし、地域を元気にしたいです。

関市ポップカルチャー団体「劇刀桜絵巻」  
Instagramで最新のイベント情報や活動の様子を発信中!  
「クリエイターズSEKI展」やコラボ商品の情報はこちらから

「潔」



撮影者:関商工高等学校 写真部 加藤梓  
関商工高校の体育祭での一幕です。澄み切った青空と、生徒たちの潔い姿がとても印象的でした。この後の競技も、大いに盛り上がりました。

議会だよりの表紙写真を募集しています!

関市で撮った素敵な景色や笑顔の写真をご提供ください!

- ①お名前 ②写真の説明
- を添えて送ってくださいね。



第1回定例会は

2月17日(火)~  
3月19日(木)

日程は変更になる場合があります。  
詳しくは議会ホームページへ



- 編集・発行責任者 議会広報委員会
- 委員長 市川 隆也
- 副委員長 北村 隆幸
- 委員 川合 治義 安達 克也 長瀬 敦久
- 池村 真一郎 林 裕之 武藤 記子
- 栗山 守 足立 将裕 猿渡 直樹



編集後記

市民の皆様のご生活と議会活動は直結しています。それがより分かりやすく伝わるように、編集委員みなで知恵を出し合っています。取り上げる内容はこれでいいのだろうか、行政の中で使わないような言葉はどう言い換えたらいのだろうか、興味をもって読んでもらうにはどうしたらいいのだろうか、と毎回議論を重ねます。今回の特集では、そんな制作の様子を載せました。「すばっと」に込めた願いが伝わったらうれしく思います。